


5 稲霊と田の神～アエノコトとイブリ祭り

 : 田中さんは祭りをやっているみたいね！見てみよう！

田中さん：日本の農村では村全体だけでなく、それぞれの家ごとにも大切な行事が代々にわたって伝えられました。私がやっているのは「アエノコト」という行事です。田を守り、豊作をもたらしてくれた田の神様にごちそうを差し上げて食べてもらうのです。それに、田の神様は目が見えないと考えられているので、家の主人が一つ一つのごちそうをていねいに説明してもてなします。春の種まき前に行われるアエノコトはその年の豊作を願う大切な行事です。

6 祭り



共同膳碗と言いますが、祭りや祝日のような決った時や特別な時、宴会のためにだけに使う食器です。

「苗三把、稲之花」イブリ祭りもアエノコトと同じ、神様に感謝の気持ちをこめて行われています。



御田祭り祭具

 : 村の人たちに聞いてみた。今日の祭りは以下の流れで行うそうだ。

- ❖ 午前中には、各家から世帯主が集まり、餅を作る。
- ❖ 若者二人は餅を担いで、八幡神社に奉納する。
- ❖ 午後一時、鐘の音を合図に、再び村人が集まる。大家の引き継ぎの儀式を行う。
- ❖ 餅を同じ大きさに切り、皆が提げて帰れるように藁で括る。
- ❖ 藁を緋い、ご神体「おかわさん」を作る。
- ❖ 「おかわさん」は新しい当屋の座仕組み飾られて、これからの一年を過ごす。



ご来館、誠にありがとうございます！

歴博ワークシート

日本語版

ジョー セイブン

日本体験—農村風俗

「第4展示室 村里の民」



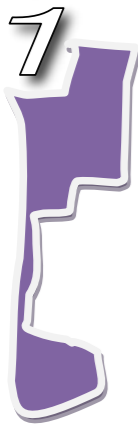
稲作に使う道具や動物（牛）などの模型を神社に飾って、実際に、この道具を使って、稲作の様子を演じて、稲の稔りを祈ります

民俗は、地域の歴史を投影して伝承されます。水田を耕作し、米を作ることが弥生時代以降、近年までの日本の農村の基本的な姿でした。そして、水田をもたらしてくれた先祖たちを祀る祖霊信仰も発達してきました。人手のいる米作りをするために、村人たちは協力し、助け合い、そこに自然と決まりが生まれました。このワークシートを通じて、日本の農村風俗を体験しましょう！

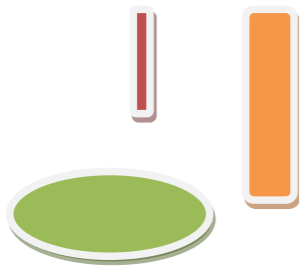


千葉大学・国立歴史民俗博物館 短期留学生プロジェクト
International Student Project, Chiba University and National Museum of Japanese History

千葉大学国際教育センターと国立歴史民俗博物館（歴博）は、2009年から千葉大学に在学する短期外国人留学生を対象とした教育プログラムに共同で取り組んでおり、歴博の展示の見どころを紹介するワークシートを作成する授業を行っています。このワークシートの内容は、短期留学生が歴博の展示について勉強した成果をそれぞれの理解のもとでまとめたものです。



展示室「村里の民」
入口



私たちは西物部という村で、田中さんの家に二日間のホームステイをします！ここで、日本の伝統的な農村風俗と異なる信仰を体験して、楽しみましょう！

2

村の風景を楽しみましょう～西物部



西物部は米作りを中心としている日本近畿地方の典型的な農村です。戸数三十五軒の小さな村で、家と家が互いに近く接しているのが特徴です。村の入口に立っている巨大な藁人形は村の安全を守って、外から災いが入ってくるのを防ぐために作られています。また、日本の他の地域でも、同じ働きを持っている道祖神が道の脇に立てられています。



これは「共同墓地」と呼ばれている特別な墓地なの？一体どんな原因があるのよね……



田中さん：
稲の豊作を祈るために、神社やお寺は村の真ん中に位置していますが、共同墓地は村のはずれにあるのは死による穢れは外に置くという考え方によります。
それに近畿地方では神と仏が仲良く並んでいる姿は珍しくありません。
「共同墓地」は遺体を埋めるところと石塔を建立するところがはっきり区別されている墓地です。石塔墓地も「参り墓地」と言えます。

村の真ん中に、なぜ神社とお寺があるの？



3

農家の生活の息吹を感じましょう～田中家



田中さんの家にはたくさんの供え物が並んでいるね！あの藁で作られたものは何？特別な意味があるみたいね……



豆知識：
日本人は米を単なる食料と考えるよりも、霊的な力が宿る神聖なものとして信じてきました。米は一年に一回実る作物です。これは人間が1年に1歳年を取る年取りと重なり、米は年齢や生命の象徴として信仰されてきました。



米俵が地域によって形は違うが、そのものを神様として考えるのは同じです。人間が生まれる部屋に種子俵を祭るといのは、稲もそこで新しい生命を生み出すという信仰があったことを物語ります。

稲に花が咲いて、お米が実るよという祈りの気持ちが入っています。



田中さん：
朝六時、鐘の音に伴って、朝寺参りから忙しい一日が始まります。お寺の種や太鼓の合図で情報を伝えますが、合図の回数や間隔によって意味が違います。夜の場合、提灯もたくさん使われています。
右側の「警鐘の知らせ」ボタンを押して、試してみましょう

4

村の報知



テレビやラジオなどがなかったころは村ではどのように情報が伝えたのだろう。

